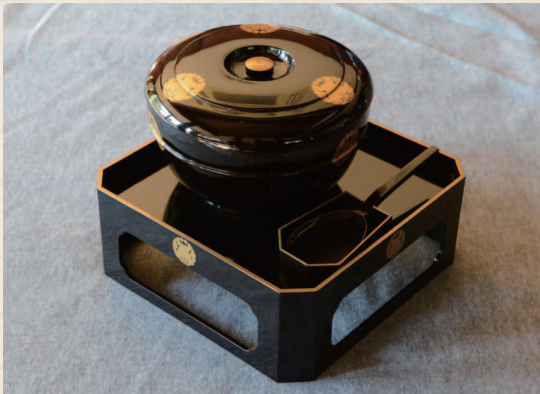


蔵

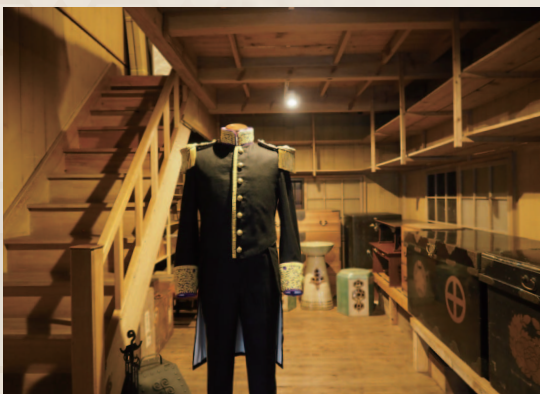
近衛文麿が住み始めた後の昭和13(1938)年に建築された2階建ての蔵で、痕跡調査の結果、近衛居住期から現在までほとんど改変されていないことが分かりました。近衛家で使用されていた生活用具をはじめ、漆工品、書画、長持などが保存されていました。

近衛家の日記には、近衛家本宅であった永田町邸から、荻外荘に長持や桐箆笥を運んだことが記されています。

入澤居住期(昭和2(1927)年～昭和12(1937)年)、この場所には鉄筋コンクリート造の倉庫がありましたが、昭和12年の近衛への^{ふうてきそう}楓荻荘譲渡に際し、倉庫は入澤の引っ越し先に曳家されました。



牡丹紋蒔絵飯器及び台(杉並区指定文化財)



蔵(復原後)



蔵(復原後)